



Lead【ニュース】

学生企画「TOY'S(Mズ)」(第1回)を行いました

5月23日(月)に今年度初めての学生企画をリズム室にて行いました。名称もここ3年で「あ・そ・BU」⇒「あそべ屋」⇒「TOY'S(Mズ)」と、名称や活動内容もその時のメンバーで決めています。今回の取り組みも前々の週に話し合いをし、前の週に実際にセッティングをして試し実践に臨みました。

当日は、17組46名の親子で賑わいました。小麦粉と風船で作る「コムギン」や割りばし鉄砲、廃材制作、ボールプールのコーナーなどを設定し、思い思いに遊びました。6月は教育実習期間のためできませんが、再び7月に行う予定です。学生発の企画ですが、全国的にも珍しい取組です。今後ともよろしく願いいたします。(石井章仁)



◆学生主催広場の目的

- 千葉明德短期大学の学生が、ゼミの教育活動の一環として行う広場です。
- 学生自身が地域の親子向けの広場の企画を立て、準備し、実践することを通して、保育者や社会人となってから必要となる力を培うために行います。
- 通常のたいむのスタッフが関わらないことで、保育実習のような“従属的”な現場体験ではなく、自らが責任と主体性を持った現場体験とすることも目的の1つです。
- 仲間との共同作業を通して、協調性や協同性を培うことを目的とします。

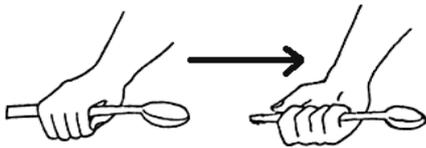
■ お箸って難しい！？ ■

先日、年長児のRくんのお母さんより、「Rがちゃんとお箸を持てるようになったんです！」と、嬉しい報告がありました。年中児の頃にRくんの箸の持ち方についてお母さんと話したことがあり、「何か良い方法はないか」と2人で話したことがあります。その時に“私はどのようにして箸を持てるようになったか”という話をしました。大人になった今では、きちんと箸が持てるようになったのは家族のおかげであると感謝していますが、当時は何度もくり返し家族に注意をされていたので、正直食事が楽しくなかった時期がありました。そこで、母が考えた物が《しつけ箸》でした。今でいう、トレーニング箸です。そして、箸に違和感がなくなってきた頃に母が普通の箸に移行していったというような内容でした。

たいむでも定期的に箸に移行する時期やそのタイミング、持ち方、使い方などについて質問を受けることがあります。トレトレーニングなどと同様、子どももお母さんも一人ひとり違いますし、やり方や考え方も違いますので毎回どのようにお答えしようかと悩みます。(幼稚園へ入園するため・3歳になったから)など、お母さん方にもそれぞれ思うことがあると思いますが、何人かの方のお話を聞いているうちに、ふとどのような時に箸に移行しようと思うのかと疑問に思いました。

移行の時期やタイミングとして、「箸の練習はスプーンとフォークが上手に持てるようになってから・・・」という目安はあります。上手くスプーンとフォークを使って食事ができないうちに箸に移行した場合、箸では思うように上手く食べ物がつかめず、なかなか自分の口に入らない。そう考えると大人でもイライラしてしまうのではないのでしょうか。子どもなら大人以上にストレスを感じているかもしれません。箸での食事を考える前に、私としては「まずは楽しい食事を優先に」と考えていますので、家庭での食事の様子をうかがい、「こうしてみるのはどうでしょうか？」という具合に提案をしています。また、指先の様子もたずねるようにすることで、「なんで？」「どうして？」というお答えをいただくので、簡単ではありますが幼児の発達についてお話するようにしています。その中で、《なぜ、スプーン・フォークをしっかりと持てるようになってからなのか》・スプーン・

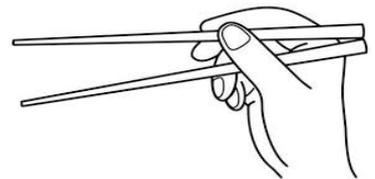
フォークの正しい持ち方では、《上手持ち➡下手持ち➡ペン持ち》というお話もさせていただいています。



上記のRくんのお母さんをご自身でいろいろと考え、悩みながら工夫をされていたので、今回のお話は私もとても嬉しかったです。子どもの成長を想い、家事などをこなす日々の生活の中で、子どもの興味や関心・意欲を大切にしながら向き合うことは簡単なようで実はとても難しいことだと思います。Rくん・お父さん・お母さん、家族みなさんの日々の努力と積み重ねがとても大きいのだと実感しました。

たいむでは、この頃3歳になる子どもたちがお母さんと一緒にはさみの練習をするようになってきました。1回で切れる紙(画用紙)をチョキと切ったり、少しずつ連続でチョキチョキと切れるようになってきたりと、子どもたちもとても真剣です。はさみで紙を切る動きも、箸を使い動かすためには必要な手・指の動きです。まだまだ自分の思うように上手に手や指を動かすことが難しい年齢ですので、普段の遊びを通して無理なく楽しみながら指先を鍛えるために、スタッフも室内の玩具の見直しや指先あそびの工夫などをしていこうと考えています。

また、室内の環境設定の年齢対象が幼稚園児の大きな子どもたちになりがちであったと反省しつつ、小さい子向けの手づくり玩具を再登場させたり、スプーンや箸を使った遊びなども取り入れたりしていこうと思います。(本田美乃)



Report 【報告】

□さつまいもの苗植え 5月19日(木)

当初予定していた17日(火)は大雨のため19日(木)に延期になりましたが、10組27名の参加がありました。中庭でさつまいもの苗を子どもたちに配ると、早速お母さんと畑の土に触れ、一緒に植えていました。その後の水やりでは、お母さん方が交代で水道に立ち、子どもたちのじょうろに水を入れていました。小さな体で何度も畑に足を運び、苗の世話をしていたのが微笑ましかったです。また、ダンゴムシ・カタツムリをみつけては興味津々の子もいたり、たっぷりと水・砂で遊んだり元気な子どもたちでした。

そして、ちょうどお腹が空いてきた頃にラウンジにて、ホットプレートで焼いたウインナーと焼きマッシュマロを食べると、大人にも子どもたちにも喜んでいただけました。

たいむに遊びにきたら畑の方にもぜひ足を運んでください。もちろん、畑の世話もみんなでやりたいです。



□第2回「まんぷくCafe」を行いました！5月20日(金)

第2回目のメニューは「煮込みハンバーグ」。26組73名の参加者がありました。また今回より、3階講堂を体が動かせる遊び場として開放しました。元気の子も子どもたちに混ざって、小さな子たちも遊ぶ姿があり、まんぷくcaféの良さは、食べるだけではない、食事の前後に遊びを通して交流が図れることであると考えています。

*次回は、6月17日(金)メニューは「園で人気の麻婆豆腐」です。



*今年度より、たいむでは、千葉市中央区の助成を受け、近年全国的に広がる「こども食堂」を始めました。毎月第3金曜日は16:00～20:00を「まんぷくCafe」の時間とし、大人300円、子ども100円で夕食を提供するほか、遊んだり・学んだりする活動を行っています

○新しいスタッフのご紹介○

村上 知子(むらかみ ともこ)

約10年ぶりに仕事に復帰しました。現在は、小学2年生の男の子・年中組の女の子、2児の母で、毎日育児に奮闘中です。たいむに来てくださるお母さん方と育児の事でいろいろと共有できたら嬉しいです。趣味は、消しゴムはんこ・封筒づくり・フェルトなどです。よろしく願いいたします。

* 村上さんは、明徳の卒業生でもあり、前職は幼稚園教諭を長くされていました。保育者の目線で、保護者の目線で、見ていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 水あそびが始まります！ ■ 子育てひろばでは異例の早さ！

今年も水あそびの時期がやってきました。水あそびが大好きな子・初めての子もみんなと一緒に遊びましょう！！

* 気温が25℃以下の日は、水あそびを行わないことがあります。

* まいペース・まいすべすの日は行いません

【日 程】 6月7日(火) ～ 天気の良い開室日
【時 間】 10:00～15:00
【場 所】 短大別館 中庭
【持ち物】 タオル・水着(水あそびパンツ)・サンダル等



■ リズム室であそぼう！ ■

巧技台やマット・トンネルなどを使って、室内でたくさん体を動かしながら遊びましょう。たいむの会員以外の方のご参加もお待ちしております。 * なお終了後12:00～16:00は通常通り、たいむを開室します。



【日 程】 6月9日(木)
【時 間】 10:00～12:00
【場 所】 短大2号館 1階リズム室(附属幼稚園脇の建物)
【利用料】 100円(保険料) ※半年・年間会員はいただきません。
【持ち物】 必要に応じて、飲み物・タオル・着替え など
* 大人も(子どもも)履物があると靴下が汚れません。

■ 学生ボランティアがたいむにきます ■

6月9日(木)10日(金)に、短大1年生の濱崎香織さん、柳川朋美さんがボランティアに入ります。「教養基礎演習」という授業で、幼稚園・保育園をはじめ、様々な社会的体験をする「アクティブラーニングウィーク」という機会があり、2人はその一環でたいむでの体験を希望しました。2人は、たいむの子どもたちとかかわり、保護者の皆さまに声をかけていただくことを望んでいます。ぜひ、彼女らに子どもとかかわる機会を作ってください！よろしく願いいたします。

な、なんと！！ ■ たいむ“ほぼ”公式ツイッター はじまります ■

たいむ統括・石井がたまに、たいむのこと、子育てのこと、保育のこと、世の中のこと…つぶやきます
よろしければフォローお願いします！！ [twitter@sodachiai](https://twitter.com/sodachiai) 【育ちあいのひろばたいむほぼ公式ツイッター】